

令和6年度に向けた改善方策

世田谷区立武蔵丘小学校

校長 今宮 直樹

令和5年度の学校関係者評価を踏まえ、令和6年度の改善方策を下記のとおり設定します。

記

重点目標

1 計画的、組織的なキャリア・未来デザイン教育のさらなる推進

- ・重点目標にした理由：

児童の評価において、「自分の生き方や将来のことについて考える授業」が昨年度より15%ほど減少

【具体的な取組】

- ・児童へは、キャリア・未来デザイン教育につながる、「せたがや探究的な学び」を踏まえ、学習や生活のめあてを振り返り、見通しをもって自己実現できる力を育てる「むさし探究的な学び」を引き続き行う。
- ・児童の自主的な目標を尊重し、すぐに調べ、探究できるようにICTタブレット機器の効果的な活用を一層進める。
- ・保護者と地域への発信として、キャリア教育の年間計画を見直し、地域人材を生かして計画的、組織的にキャリア・未来デザイン教育を推進するために、キャリア教育のねらいと活動の内容、人材の募集や活用を、保護者会や学校だより等で周知する。

2 学校と地域における情報提供と連携の一層の充実

- ・重点目標にした理由：

保護者の評価において、「本校は地域に情報を提供している」が昨年度より20%超の減少

【具体的な取組】

- ・地域からの、学校だよりや、ホームページに関する評価は依然高いが、保護者から見た地域への評価が減少している結果である。実際に地域と密なる連携をしているのが事実なので、そのことを保護者会などで、誤解なく保護者に分かりやすく理解できるよう周知する。
- ・ホームページや学校だよりで、今まで以上に地域への発信を意図的に多くし、そのことを保護者に伝えていく。
- ・児童へは、地域人材の活用で感謝の意をもたせ、授業内容の発信とともに連携を深める。